

缶

〔延喜式五齋宮〕供新嘗料

土手湯盆、陶手洗各二口、

〔延喜式四十三〕年料

缶四口 二口納漿、二口汲水、  
部手水料、○中略

右坊依主膳監解申官請受、餘監署所請物准此

〔江家次第六七〕解齋事曉十一月十二日、  
十一月十一日後

御手水大床子南頭立白木机一脚 ○中其南立白木八足机一脚、其上居缶一口 盛御手水、長經記、  
口云云、近代如此

杓一口、

〔紫式部日記〕御ゆどのは、とり○中の時とか、○中のおけすへたるだいなど、みなまろきおほひまたり、○中みづし二、きよいこの命婦は、りま、とりつぎてうめつ、女房二人、大もく、むまくみわたして、御ほどき十六にあまればいる、

○按ズルニ、水ヲ以テ湯ニ投ジタルヲ瓮ニ入ル、ナリ、即チ洗兒ノ用ニ供スルナリ、

〔延喜式二十〕饋享

大祝還樽所、謁者引頭詣盥洗、盥手洗爵 ○下

〔正字通〕盥未盥廬回切音雷、酒器、又盥器、  
盥畫爲雲雷之象、○下略

〔延喜式五〕諸國釋奠式

器數 ○中 盥 ○中 盥 ○中 實水 ○

職掌 ○中 洗所三人 ○中 獻官 ○中 執事 ○中 盥具事 ○中

〔三好筑前守義長朝臣亭江御成之記〕御西淨之内に柵あり、○中 桶杓あり、御手水をも桶にて置同

杓 何も黒塗マキエアリ

盥

手水桶